

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3591600048		
法人名	医療法人 健仁会		
事業所名	グループホーム野の花(1階)		
所在地	山口県山陽小野田市大字郡字浜3233番7		
自己評価作成日	平成23年2月20日	評価結果市町受理日	平成23年9月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do">http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成23年3月4日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「皆に優しく 共に楽しく」地域の中でいつまでも自分らしく生活していける・・・を理念としています。接遇研修を実施しており、優しく尊厳に配慮した支援につとめています。職場内研修や外部研修の機会も多くスキルアップに努めています。「元気」を目標に、能力に応じて身の回りの事はして頂き出来ない事だけ支援させて頂いています。。洗い場は2つ設置し、掃除道具もたくさん用意しています。推進会議や地域行事参加の折に事業所や利用者様を知って頂く機会を多く設け、なじみの方から声も掛ります。今年は事業所にもお招きし一緒にピザ作りにも挑戦しました。これをきっかけに地域の方が新聞を折ったものを届けて下さるようになり、年々地域の方との交流が密になってきています。また、家族会もあり、花見や泊旅行またクリスマス会など利用者様と楽しみながらご家族との交流も深めており、ご家族の協力を得ながら利用者様が安心して暮らして頂けるように努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

理念の実践に向けた取り組みにより、地域や家族との協力のもと、利用者がゆったりと穏やかな日々を楽しんでおられます。つぶやきメモ、寄り添い表、ケース記録等で利用者や家族の思いや意向を記録され、その人らしい暮らしを続けられるよう支援されています。遠方の家族や友人に会いに行ったり、馴染みの鮮魚店等行きつけの場所に出かけたり、手紙や年賀状を出すなど、利用者が馴染みの人や場所との関係を続けられるよう家族と協力して支援しておられます。毎月家族に配布している事業所だよりは、日頃の様子コメントと写真を添えて送られるなど一人ひとりへの配慮が行き届き、家族との繋がりも深めておられます。自治会に加入し、地域の行事に利用者も一緒に参加したり、休耕田を借りて運営推進会議のメンバーや地元の方たちと一緒に畑作りをされるなど、馴染みの関係が築かれるよう取り組んでおられます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
57 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員は、生き活きと働けている	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3591600048		
法人名	医療法人 健仁会		
事業所名	グループホーム野の花(2階)		
所在地	山口県山陽小野田市大字郡字浜3233番7		
自己評価作成日	平成23年2月20日	評価結果市町受理日	平成23年9月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do">http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成23年3月4日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

理念とケアの4つの柱を基に、介護者の目線を低くし優しく尊厳に配慮した支援につとめています。月に2回の基本介護研修会や月1回の事例報告会、野の花独自の勉強会また勤続年数別に接遇研修を実施しておりスタッフのスキルアップに努めています。平成20年から学習療法を導入し認知症進行防止に努めており、生活の中では能力に応じて身の回りのことはして頂くようにし、毎日の日課のラジオ体操の後には歌やしりとり、風船バレー等を取り入れ楽しみながら頭と体の運動を取り入れています。全職員が救命講習を受講し、AED(自動式体外除細動装置)設置ステーションの認定を頂き、緊急時の地域の拠点にもなっています。地域との関わりも深く、地域の小学生の訪問や職場体験の受け入れ、またお借りしている休耕地では地域の方々と一緒に野菜を栽培しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

理念の実践に向けた取り組みにより、地域や家族との協力のもと、利用者がゆったりと穏やかな日々を楽しんでおられます。つぶやきメモ、寄り添い表、ケース記録等で利用者や家族の思いや意向を記録され、その人らしい暮らしを続けられるよう支援されています。遠方の家族や友人に会いに行ったり、馴染みの鮮魚店等行きつけの場所に出かけたり、手紙や年賀状を出すなど、利用者が馴染みの人や場所との関係を続けられるよう家族と協力して支援しておられます。毎月家族に配布している事業所だよりは、日頃の様子コメントと写真を添えて送られるなど一人ひとりへの配慮が行き届き、家族との繋がりも深めておられます。自治会に加入し、地域の行事に利用者も一緒に参加したり、休耕地を借りて運営推進会議のメンバーや地元の方たちと一緒に畑作りをされるなど、馴染みの関係が築かれるよう取り組んでおられます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、活き活きと働けている	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時またミーティングの初めには理念の唱和を行い名札の裏や書類にはケアの4つの柱を印字し理念の共有ができるようにしている。また、全員で意見を出し合い理念を基にユニットケア目標を決めユニットに掲示し日々のサービスに繋げている。	「皆にやさしく、共に楽しく地域の中でいつまでも自分らしく生活している」という事業所独自の理念を作成し、朝礼時やミーティング、ユニット合同会議などで唱和し、掲示して共有している。ユニットごとのケア目標を決めて、実践につなげている。	
2	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「皆に優しく共に楽しく地域の中でいつまでも自分らしく生活していける・・・」をグループホームの理念とし毎朝の朝礼時やミーティング時には皆で理念の唱和をして共有している。またスタッフ一人一人の名札の裏や各書類にケアの4つの柱を明記し常に心にとめ実践に取り組んでいる		
1	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入っており地域行事には必ず声をかけて頂いている。行事では地域の方の方から声をかけて頂き利用者様とお話して下さったり見守りをして下さる時もある。施設長が自治会内に住んでおり普段からも地域の方々との交流ができています。近所の商店には日頃から買い物に出かけておりそこで世間話をしたり情報交換をしています。事業所で作ったおはぎなど差し入れとしてご近所にお配りしています。ご自宅で折られた新聞の袋や畑の果物やお花を事業所に届けて下さっています。	地域の消防訓練には職員が参加し、夏まつり、運動会、文化祭には利用者も参加している。保育園や小学校の運動会の見学、中学生の職場体験等の受け入れ、事業所だよりを自治会に配布するなどしている。運営推進会議のメンバーや自治会の人と一緒に畑づくりや収穫を行うなど、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の商店には日頃から買い物に出かけておりそこで世間話をしたり情報交換をしています。事業所で作ったおはぎなど差し入れとしてご近所にお配りしています。ご自宅で折られた新聞の袋や畑の果物やお花を事業所に届けて下さっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3	1階	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議にて民生委員や自治会の方々から認知症についての質問もあり認知症介護の実践経験や知識をお話する場がある。また、地域の方々を事業所にお招きしピザ作りをした際に実際に利用者様と触れ合うことで認知症に対する理解を深めてもらっている。地域の中学生の職場体験の受け入れもしており、実際利用者様と触れ合って頂く事で認知症の理解を深めてもらっている。		
3	2階	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じ民生委員や自治会の方々から認知症高齢者の理解や関わりについて質問、相談を受けている。また事業所に地域の方を招いてピザ作りを開きその折に認知症についての理解を深めている。		
4	1階	(3) ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価票のコピーを全員に配布し見直しをもらっている。また、ミーティング時に評価を実施する意義を伝えており項目ごとに全員で意見交換をしている。前回評価時のアドバイスも皆で話し合い新しい取り組みも実践している。	評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。職員は、ケアの見直しや自身の課題点として捉え、事業所全体のサービスの質の向上に取り組んでいる。	
4	2階	(3) ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	ユニットミーティング時に自己評価について皆で意見を出し合いスタッフ一人一人が自己評価について見直しを行っている。また外部評価の結果を全スタッフが回覧し改善点について具体的な案を出し改善に取り組んでいる		
5	1階	(4) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催し利用者様の状況や生活の様子を資料や写真でお知らせしている。運営推進会議で出した意見をもとに「子ども110番」に加盟した。	自治会長、民生委員、漁業組合代表、福祉委員、市担当者、家族などが参加し、2ヶ月に1回開催している。利用者の生活の様子、行事報告、外部評価の結果報告等を行っている。法人の3事業所合同の運営推進会議を年1回開催し、防災の取り組みについて話し合い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている。	
5	2階	(4) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し利用者様の状態や生活の様子、行事等について写真や資料を通してお伝えしている。外部評価の結果も野の花メールや推進会議を通じてお伝えしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えな がら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議に法人代表・ケアマネ他多数参加し ている。市役所職員との情報交換も日頃からして おり必要に応じて指示・指導を頂いている。また、 認定調査で地域包括支援センターの職員が訪問 した際にも情報交換を行っている。	介護保険課とは、サービス利用に関しての 相談や情報交換をしている。地域包括支 援センター職員とも情報交換するなど協力 関係を築いている。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えな がら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議に法人代表・ケアマネ他多数参加し ている。市役所職員との情報交換も日頃からして おり必要に応じて指示・指導を頂いている。また、 認定調査で地域包括支援センターの職員が訪問 した際にも情報交換を行っている。		
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約の際には重要事項説明書及び契約書で身 体拘束の理念や方針をご家族に説明している。マ ニュアルがあり法人勉強会やグループホーム勉強 会にて身体拘束の恐ろしさを学んでいる。中庭や 他事業所への入り口の鍵はいつも開いており自由 に行き来して頂いている。	法人全体が、「身体拘束はしない」という方 針を持ち、マニュアルを作成し、家族に説 明している。法人や事業所で勉強会を実 施して、スピーチロックなど具体的な事例 を学んで、身体拘束をしないケアの実践に 取り組んでいる。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人で「身体拘束マニュアル」を作成しておりス タッフ全員が回覧し理解している。グループホ ムの勉強会でも取り上げ身体拘束ゼロに向けて取 り組んでいる。接遇研修でも日頃の声かけや基本 となる挨拶の姿勢、語尾、オウム返しの方法など 具体的な指導がある		
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につ いて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内 での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、 防止に努めている	法人勉強会やグループホーム勉強会にて法律を 含めた勉強会を行っている。身体拘束と共に身近 な事例を用いて職員全員で考えてもらっている。 また、接遇研修も定期的に行われており法人代表 から言葉遣いや接する態度についても指導を受 けている。		
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につ いて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内 での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、 防止に努めている	法人勉強会やグループホーム勉強会にて法律を 含めた勉強会を行っている。法人のマニュアルも あり言葉づかいも含め虐待につながる行為が行わ れていないか職員間でも話し合っている。接遇委 員会の勉強会では職員全員がロールプレイング を実施し実践されているか委員によりチェック評価 している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	1階	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人勉強会やグループホーム勉強会で学ぶ機会を設けている。現在成年後見制度を利用されている方はいらっしゃるがご家族には必要に応じてこのような制度がある事をお伝えできるように資料がある。		
9	2階	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人勉強会やグループホーム勉強会で学ぶ機会を設けている。現在成年後見制度を利用されている方はいらっしゃるがご家族には必要に応じてこのような制度がある事をお伝えできるように資料がある。		
10	1階	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者や法人相談員が中心となり重要事項説明書及び契約書にて丁寧に説明しその都度質問を受けながら疑問点や不安等の相談を受け、理解納得を図り同意を頂いている。重要事項説明書の改定等は文書及び口頭にてしっかり説明し理解して頂いている。		
10	2階	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者や法人相談員が中心となり重要事項説明書及び契約書にて丁寧に説明しその都度質問を受けながら疑問点や不安等の相談を受け、理解納得を図り同意を頂いている。重要事項説明書の改定等は文書及び口頭にてしっかり説明し理解して頂いている。		
11	(7) 1階	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書の相談窓口の条項には事業所、公的機関また第三者窓口が記載されており説明もしている。日々の会話や表情から想いを汲み取ることができるように意識している。少しの気付きも連絡帳に記入しミーティング時に議題として取り上げ改善策を皆で考えている。	相談、苦情の受付担当者、外部機関、第三者委員を明示し、苦情処理手続きを定め周知している。家族会や年2回アンケートを実施し、意見等の集計を事業所だよりで報告、送付している。運営推進会議や面会時に意見、要望が出せる雰囲気づくりに努め、家族からの意見や要望を運営に反映している。	
11	(7) 2階	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に公的な相談窓口、第三者相談窓口もお伝えしている。意見や希望は家族会、カンファレンス、面会時を利用して想いを早めに把握して苦情の第一歩目の窓口としている。年2回アンケートを実施し、結果は野の花メールでお知らせしている。ご家族から要望が合った際は要望書を記入しリーダー、管理者に相談し速やかな対応ができています。ご家族からの意見は要望書にてスタッフ全員で共有し改善策を話し合っている。また、事業所の処理手続きに従い随時管理者や法人代表に指示をもらいながら早急に解決できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回のユニットミーティングと月1回の合同ミーティング時にスタッフひとりひとりの意見を聴く機会を設けている。リーダーは職員からの意見や提案があった場合管理者や代表に報告し、運営会議や法人グループホーム合同会議等で議題にあげ反映させている。グループホーム独自のケース記録用紙やアセスメント表の改善等をした。スタッフの意見から浴室の手すり増設の意見が出ており現在設置場所の検討中である。	月2回のユニットミーティング、月1回の合同ミーティング時に職員の意見を聞く機会を設けている。職員から出された意見や提案は管理者や代表者に提言しており、運営に反映させている。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りや月2回のユニット会議においてスタッフの意見を聞く機会を設けている。リーダーはスタッフから意見や提案があった場合、管理者や代表に報告し運営会議や3グループのリーダー合同会議で議題に挙げ反映させている。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グループホームの人材として、人間として、家庭人として優れた人が望ましいと考え一人ひとりの能力を見極めて業務にあたっている。能力や資格に応じた手当もある。月リーダーや各役割分担をし、担当となることで自信や向上心に繋げている。ノー残業週間もある。疲労を残さずストレス軽減に取り組んでいる。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グループホームの人材として、人間として、家庭人として優れた人が望ましいと考え一人ひとりの能力を見極めて業務にあたっている。能力や資格に応じた手当もある。月リーダーや各役割分担をし、担当となることで自信や向上心に繋げている。ノー残業週間もある。疲労を残さずストレス軽減に取り組んでいる。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人や新任研修のマニュアルを作り指導している。月2回の法人勉強会月1回のグループホーム勉強会には多くのスタッフが参加できるように勤務も調整している。また、外部研修参加の機会も多く参加したスタッフが講師となって勉強会やミーティングでの報告会をする機会もある。	法人研修や月1回の事業所勉強会、年1回の法人研修発表会に参加している。外部研修には段階的に勤務の一環として受講の機会を提供し、復命し、共有をして実践につなげるよう取り組んでいる。	
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人では月2回の基本介護講習や月1回の全体研修、年1回の接遇研修を实践しており講習はポイント制になっており、参加者には報酬もある。また勤務の一環として外部研修の機会もあり研修後は報告書を提出しスタッフ全員に回覧している。グループホームの勉強会もありスタッフの知識、技術の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15	1階	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議に法人代表・ケアマネ他多数参加している。市役所職員との情報交換も日頃からしており必要に応じて指示・指導を頂いている。また、認定調査で地域包括支援センターの職員が訪問した際にも情報交換を行っている。		
15	2階	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域にグループホーム連絡会があり施設見学や勉強会、交流会に参加しサービスの質の向上に取り組んでいる運営推進会議の際、近隣のグループホームをお招きして情報交換を行っている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
16	1階	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談や見学の機会を設けている。ユニットでお茶を飲みながらお話をする機会も設け雰囲気慣れて頂けるように努めている。ご家族からも生活歴をお伺いし寄り添い表を作成し入居後の日々のお話のきっかけ作りにも努めている。		
16	2階	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談や見学の機会を設けている。利用者様との会話の中で要望や不安があれば傾聴し不安の軽減に努め関係作りに努めている。		
17	1階	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設サービスの問い合わせには法人相談員が丁寧に対応している。見学もされており、管理者、リーダーは相談員を調整してご家族の想いを聴く機会を設け、その想いを受け止められるように連携している。また、担当スタッフをすぐに配置しお話等も聴けるようにしている。		
17	2階	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設サービスの問い合わせには法人相談員が丁寧に対応している。見学もされており、管理者、リーダーは相談員と調整してご家族の想いを聴く機会を設け、その想いを受け止められるように連携している。また、担当スタッフをすぐに配置しお話等も聴けるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18	1階	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、法人相談員、ケアマネ、管理者が連携をとり生活の場としてグループホームの利用が良いのか老健や在宅での支援等、現在どういう状況でありどのような支援が必要なのか話し合っている。他のサービスの情報も提供している。		
18	2階	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族がまず何を必要とされているのか法人相談員、ケアマネ、管理者、スタッフが連携をとり理解、把握し対応している。法人施設でも入居を待たれている方も多く、無理のない適切なサービスが受けられるように支援している。		
19	1階	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフの情報交換やアセスメントでその方の能力を把握し今できることをスタッフと共にして頂いている。畑の手入れの仕方や昔の習わし等日々教えて頂くことがある。身の回りの事は極力ご自分で頂き掃除道具もたくさん用意し毎朝の日課になっている。		
19	2階	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の得意とされる事やお好きだったことを把握し、料理、野菜のお世話、昔の歌や遊びなど利用者様が主役となられる場面を設け人生の先輩として色々教わったりしながらお互いに支えあう関係ができています。		
	1階	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	野の花メールや写真、記録物を見て頂き日々の様子を面会時にお話しするようにしている。認知症のお話をさせて頂きご家族の心の苦しみを少しでも緩和できるようにしている。面会も増えたご家族もいる。課題ができた時にはカンファレンス等と一緒に考えご家族にも協力を頂いている。		
20	2階	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の日々の暮らしの出来事や気づいた事を面会時や家族会、誕生会、カンファレンス、電話等で密に連絡し共に利用者様を支えていけるように協力を求めている。またご家族が面会に来られた際に一緒に体操やマッサージをしたり、定期的差し入れを持ってきて下さったりもしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方在住のご家族との文通やお話の中に出てくる馴染みの鮮魚店に魚を買いに行ったりしている。また、自宅付近の行事に参加して頂き昔の教え子に会われたり友人への手紙をきっかけに面会に来て頂けるようになった方もいらっしゃる。	遠方の家族との文通、馴染みの鮮魚点での買い物、住んでいた地区の雛まつりに行き、知人に出会ったりしている。自宅周辺のドライブ、法事の送迎の支援等や家族の協力を得て馴染みの美容院に出かけるなど関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	寄り添い表を活用して行きつけの店、思い出の場所などをお伺いし、馴染みの場所に外出できる機会を行事に組み込んだり、家に帰れる方は外泊して頂いている。また遠方の親戚の方との文通がきっかけで面会に来て下さったこともある。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングのテーブルの席の配置は利用者様同士の相性を考慮し随時席替えを検討している。仲の良い方同士で外食に出かけたりトラブルになる前にスタッフが間に入り嫌な想いをされないように支援している。また、介助のいる方や体調不良の方に対して優しい気遣いをされる利用者様もいらっしゃる利用者様同士で支え合う関係もできている。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の関係を把握し時にはスタッフが間に入り話しやすい雰囲気作りや皆で一緒に出来る事を提供している。仲の良い方同士で散歩に行かれたり食事の席も相性を考えている。また別のユニットに遊びに行ったり、行事を通して普段関わりの少ない利用者様同士がお話できる場面を作っている。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人施設に移られた方へのもとへ利用者様と一緒に遊びに行ったり入院された方はお見舞いに行ったりしている。退去された方には思い出のアルバムを作成してお渡ししている。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方はお見舞いに行ったりしている。退去された方には思い出のアルバムを作成してお渡ししている。また亡くなられた利用者様には初盆にお線香をあげに伺っている。看取りで亡くなられた方の奥様が施設内のサービスを利用されており、思い出の写真を差し上げたりお顔を見るたびにお話をさせて頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	つぶやきメモを活用し会話の中の一言を逃さないようにしている。また、表情や発言はケース記録に細かく残すようにしマーカーを引いてケアプランに反映できるようにしている。困難な方にはご家族のお話や寄り添い表またちょっとした表情の変化を逃さず意向の把握に努めている。	「利用者がその人らしく暮らし続ける支援に取り組むためには、全職員が一人ひとりの思いや意向について感心を持つ必要がある」という認識のもとに、寄り添い表やケース記録、つぶやきノートに記録し、思いや意向の把握に努め、共有してケアに活かしている。	
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	寄り添い表を活用し過去の生活に近づけるように支援している。また日々の会話の中から想いや希望に耳を傾け、日々の行動や表情からもサインを見逃さないようにしている。意思の伝達が困難な利用者様は担当スタッフが中心となり気付きなどを他のスタッフと共有し支援に努めている。		
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族とのお話で今までの暮らし方や環境をお聴きし寄り添い表に追加している。画一的な支援にならないように今までの生活歴を把握したうえで個別の支援に努めている。		
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の面会時や家族会、ケアカンファレンスの機会を利用して一人一人の生活歴の把握に努めている。また寄り添い表や会話の中でつぶやかれた言葉などから把握するように努めている。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や個人連絡帳を活用し利用者様の生活ペースや心身の変化をスタッフ全員が共有できるようにしている。随時ミーティング等で気付きを話し合い今必要な事が何なのかを話し合っている。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に看護、介護、ご家族からの言葉を詳しく記入し、ちょっとした変化も連絡帳や口頭で申し送るようにしている。生活の記録には心身の細かい記録を残している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当スタッフが中心となり利用者様やご家族を含めたカンファレンスを開催している。ケアマネの指導により本人ご家族の想いを介護計画により良く活かせるように努めている。ご家族の意見も介護計画に反映させている。モニタリングもしっかり行い介護計画が想うに沿ったものであったかどうかを評価次の計画に反映させている。	つぶやきメモ、ケース記録、個人記録をもとに担当者が中心となり、カンファレンスを開催し、本人、家族の希望や意見を聞いて、それぞれの意見やアイデアを活かした介護計画を作成している。3ヶ月ごとのモニタリングは全職員で検討し、現状に即した介護計画を作成するよう取り組んでいる。	
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月に1回モニタリングを行っており、ケアカンファレンスは本人、ご家族にも参加してもらい意見を出してもらっている。カンファレンス以外にも家族会等を利用して意見交換をしている。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	つぶやきメモやケース記録のマーカ―または個人連絡帳を活用し情報の共有に努めている。カンファレンス時にはもう一度記録を見直し統一したケアや想いに沿った介護計画を作成するよう努めている。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を見直し利用者様の様子、言動、ケア内容、看護に関すること等詳しく書けるようにして、ご家族記入欄も設け要望や報告状況等も分かるようにしている。また日頃の気付きは連絡ノートに記入して情報の共有をして、月2回のユニットミーティングで取り上げ話し合っている。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方在住のご家族の要望でのかかりつけの眼科への受診付き添いや手紙のやり取りの支援、昔は毎日行かれていた鮮魚店への買い物、生け花をされていた方の他事業所開催のフラワーアレンジメントへの参加、敬老会への付き添い、ご自宅での誕生日会、思い出の場所へのドライブ、コーヒーがお好きな方とカフェへの外出等個別の要望に対応している。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月1回の健康診断は法人内のクリニックに無料でお連れしている。1週間に1回法人の看護師が来苑しており医師の往診もある。またご家族の要望で法事の送迎をしたり、ご自宅と一緒に付き添い帰ったりもしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	1階	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の公民館で開催される警察署による講習会への参加や運営推進会議で災害時の地元消防団、消防署、自治会長等への協力の要請をしている。地元ならではの災害時の避難方法や場所の意見交換も行っている。また、地域行事参加の際には地域の方々が安全に楽しめるように見守りや声かけもして下さっている。		
30	2階	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の公民館で開催される警察署による講習会への参加や運営推進会議で災害時の地元消防団、消防署、自治会長等への協力の要請をしている。地元ならではの災害時の避難方法や場所の意見交換も行っている。法人の祭りは地域の方も多く来られボランティアの協力がある。		
31	(13) 1階	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回法人のクリニックで定期健診を受けている。また、入居前からのかかりつけ医(眼科)に付き添いもしている。定期健診に行くことが困難な利用者様には在宅総合診療を行っている。	本人、家族の同意を得て、事業所の協力医がかかりつけ医となっている。その他の必要な診療科目については本人、家族の希望するかかりつけ医となっており、通院介助の方法、情報の伝達については共有し、月1回の定期健診など適切な医療が受けられるように支援している。	
31	(13) 2階	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回法人のクリニックで定期健診を受けている。結果については利用請求と一緒にお知らせしている。また定期健診に行くことが困難な利用者様には在宅総合診療を行っている。他科のかかりつけ医にはご家族に協力して頂き受診に行ってもらっている。		
32	1階	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者は准看護師の資格を持っており看護の目線でも利用者様の状態を常に把握している。併設事業所に看護スタッフがおり相談や処置等の協力を得ている。また、クリニックからの訪問看護師にも情報を伝え医師への報告もしてもらっている。		
32	2階	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内の他事業所の看護師の協力があり、連携しながら健康管理、状態変化に早期対応をしている。法人の看護師が週1回訪問し記録から利用者様の日頃の様子や健康状態を把握し医師との連携をとっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	1階	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者様のサマリーを作成しスタッフからも病院等に様子を伝えている。相談員を通して主治医やご家族と相談して認知症が進行しないように早期退院に心がけている。場合によっては、法人の老健施設でリハビリを受けグループホームへ復帰することもできる。入院中はお見舞いに行っている。		
33	2階	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者様のサマリーを作成しスタッフからも病院等に様子を伝えている。相談員を通して主治医やご家族と相談して認知症が進行しないように早期退院に心がけている。入院中はお見舞いに行っている。希望があれば入院中でもお部屋をキープする事ができる。		
34	(14) 1階	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の指針・対応マニュアルがある。契約の際、指針を交付し説明も行っている。随時、ご家族、医師、看護師等を含めた話し合いの場を設け何度も意向の確認を行うようにしている。居室は常に整理整頓に努め好きな音楽を流したりこまめに訪室し手を握って差し上げたりし不安の軽減に努めている。	終末期の指針・対応マニュアルがあり、利用者・家族には契約時に説明している。重度化した場合には、早い段階から家族、医師、看護師、職員と何度も話し合い、方針を共有している。事例を研究発表としてまとめ、勉強会を行い、情報を共有しながら支援に取り組んでいる。	
34	(14) 2階	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の指針・対応マニュアルがある。在宅総合診療があり看取りの24時間体制もある。ご家族に重度化した場合のアンケートを事前にとり、また状態変化があった時はその都度ご家族、医師と連絡を取り今後の方針について話し合っている。ターミナルの際は部屋は常にきれいにして好きな音楽を流したり、生花を生けたり、こまめに訪室し手を握るなどして不安の軽減に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	マニュアルを作成している。勉強会で事故防止と事故発生時の対応を勉強している。ロールプレイを用い実践的な訓練も行っている。職員全員が救命講習を受けており、AEDの設置ステーションにもなっている。また、事故が発生した時はすぐに事故報告書を作成し再発防止の検討会を開催している。	インシデント報告の記録の事例について、その都度ミーティング時に対策を検討し、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。事故発生予防、再発防止(夜間急変時対応マニュアルを含む)マニュアルを作成し、研修を実施すると共に、看護師の協力を得て、ロールプレイによる事故発生時における実践的訓練をしたり、年1回の救命講習を全員が受けている。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	マニュアルを作成している。勉強会で事故防止と事故発生時の対応を勉強している。ロールプレイを用い実践的な訓練も行っている。職員全員が救命講習を受けており、AEDの設置ステーションにもなっている。また、事故が発生した時はすぐに事故報告書を作成し再発防止の検討会を開催している。		
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回夜間と地震想定避難訓練を行っている。勉強会でも避難経路のシミュレーションを行いスタッフ全員が話し合える場を設けている。スタッフへのアンケートを実施しマニュアルの見直しも行った。また、地元消防団が施設近くに住んでおられ推進会議を通して協力を呼びかけている。	地域の防災訓練に職員が参加するなど、自治会と防災における取り組みをすると共に、高潮災害に備えて地元の漁業関係者の協力助言を得ている。事業所独自に年2回夜間と地震想定訓練を行い、火災発生時の重要ポイントを確認するなど全職員で話し合っている。地元消防団への協力の呼びかけ、地域との協力体制を築いている。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対策マニュアルがありグループホームの勉強会でも学んでいる。また災害時のスタッフの緊急連絡網もある。施設での消防避難訓練があり利用者様と一緒に参加している。運営推進会議でも自治会、近隣施設、警察、消防の方々に協力が得られるように働きかけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ全員が接遇研修にて言葉遣い等の指導を受けている。また、名札の裏には理念と共にプライバシーの保護についてを入れており常に意識ができるように努めている。不適切な対応はスタッフ同士でも注意し合える関係作りをしている。	マニュアルを作成し、勉強会を実施している。利用者一人ひとりの人格を尊重し、排泄や入浴時などにも誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応等について常に意識して取り組んでいる。	
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ全員が接遇研修にて言葉遣い等の指導を受けている。また、名札の裏には理念と共にプライバシーの保護についてを入れており常に意識ができるように努めている。グループホームの勉強会でも学ぶ機会があり、お互いに声かけには注意し合っている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	飲み物や食べ物は必ず希望をお聴きしている。言葉の語尾は選択ができるような声かけを行っている。また、選択ができやすいように具体的に分かりやすく声かけをするように努めている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様のペースに合わせて押し付けにならないように充分意思確認しながら選択肢のある声かけを行い、自己決定ができる場面を作っている。献立やおやつ飲み物等好きなものを用意して選んで頂いて利用者様の希望が聞けるように配慮している。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や起床就寝の時間はその方のペースに合わせて支援している。入浴も遅くに入りたい方にはユニットで協力し合い可能な限り支援している。また、外出行事等でも希望をお聴きしその方に合わせ柔軟に対応している。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴、散歩等、利用者様のペースに合わせた生活ができるように支援している。日々の寄り添いの中でご本人の希望やお好きな物を伺い、お誕生日会でお出ししたり、食べたい物を伺いその日の夕食に取り入れたりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	1階	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装に関しては介助が必要な方でも一緒に選びお好きな服を着て頂くようにしている。外出や行事の時は希望をお聴きしお化粧もして頂いている。行きつけの美容院にご家族と行かれる方もいらっしやる。また、下着が裾から出ていたり重ね着をされる方にはさりげない声かけを行い身だしなみの支援をしている。		
40	2階	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装に関しては介助が必要な方でも一緒に選びお好きな服を着て頂くようにしている。外出や行事の時は希望をお聴きしお化粧もして頂いている。朝の整容も支援している。毎月移動美容院が来られるので希望を聞きカラーを入れたりパーマをかけたりお好きな髪型にされている。		
41	(18) 1階	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や配膳は利用者様と一緒にしてる。下膳もできる方にはご自分で頂きご自分のものは洗って頂いている。日々のお話の中で嗜好をお伺いし、好みのものをお出しできるようにしている。テレビを見られて食べたいと言われたものを買に行くこともある。時には目の前でお好み焼きや餃子を焼いたり刺身の皿をお出ししたり目でも楽しんで頂いている。ビールがお好きな方には行事の時は乾杯をして頂いている。ミキサー食の方は食材ごとにミキサーにかけ彩りにも配慮している。	昼食は法人の厨房からの配食サービスを利用し、朝食、夕食は事業所で利用者と一緒に作っている。調理、配膳、下膳、食器洗い、おやつ作り等できることを利用者も一緒にして、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事を楽しむことができるように支援している。	
41	(18) 2階	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝と夕の食事は利用者様と一緒に味見をしながら、ごまを擦ったり野菜を切ったりとその方に合った作業を提供している。食前の準備と食後の方付けは利用者様と一緒に行き、食器洗いやお米を研いだり、お盆を拭いてもらったりしている。利用者様の希望でお刺身を買ってきてお出ししたりして楽しい食事となるように工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42	1階	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は記録表で管理している。不足している方には好みのものをお出したり摂取量の詳細を記録し医師に報告し相談、指示を受けている。体重測定は毎月行っており体調変化の目安になっている。		
42	2階	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量・水分量を生活の記録に記入して体調管理に努めている。毎月体重測定を行い医師に報告し助言を頂いている。嚥下状態の悪い方には水分にトロミを付けたり、お粥や刻み食、ゼリー食をお出して必要な栄養が確保できるように工夫している。ご家族が持って来られたサプリメントを飲まれている方もいる。		
43	1階	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	現在全員が協力歯科医療機関による口腔ケアを月1～4回受けておられ口腔内清潔の指導や治療を受けておられる。口臭や汚れに関しては会話の時などにさりげなくチェックしその方に応じた支援を行っている。日曜日は義歯を洗浄液に漬けている。また、口腔ケアの勉強会にも参加し誤嚥性肺炎等の予防にも繋がることをスタッフ全員が学習し清潔保持の支援を行っている。		
43	2階	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週木曜日に歯科医等による口腔ケア、義歯調整、指導、助言を頂きそれに基づいてケアを行っている。歯ブラシは適度に交換しており、ご自分で口腔ケアが難しい方にはスポンジブラシを使用して口腔内の清潔保持に心がけている。1週間に1回ポリドントで義歯の消毒も行っている。		
44	(19) 1階	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居当初や失敗が増えた方には排泄チェック表をつけ排泄パターンを把握しミーティング等で話し合いその方に合わせたトイレ誘導や声かけを行っている。また、プライバシーに十分配慮しご自分でパットの片づけができるようにトイレにゴミ箱を置いたり入浴時さりげなく下着を交換したりしている。便失禁に関しては医師、薬剤師と相談しながら緩下剤の量等も調整している。	排泄チェック表を作成し、排泄介助方法の勉強会を実施し、利用者一人ひとりに合わせた声かけや誘導をして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44	(19) 2階	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居当初や失敗が増えた方には排泄チェック表をつけ排泄パターンを把握しミーティング等で話し合いその方に合わせたトイレ誘導や声かけを行っている。医師、薬剤師と相談しながら緩下剤の量等も調整している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	1階	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘をしやすい方にはなるべく食物繊維の多い食べ物や乳製品またオリゴ糖等を摂って頂くようにしている。また、腹部マッサージや散歩やラジオ体操等の運動でも便秘予防に努めている。食事量やお腹の張り等も便秘の疑いの目安にしている。		
45	2階	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多いもの、乳製品、オリゴ糖等を取り入れたり10時の体操や散歩、家事等で適度に体を動かすことで便秘解消に努めている。水分もお茶等お代わりを進めるようにしている。		
46	(20) 1階	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日や時間は決めずに毎日14時～21時の間で希望をお聴きしながら入浴をして頂いている。入浴を嫌われる方には香りの良い入浴剤や散歩のときに採ったよもぎを入れたりして無理のないようにお誘いしている。湯温やシャワー浴等希望をお聴きしている。時には仲の良い方と温泉気分で行われる方もいらっしゃる。	希望すれば毎日の入浴が可能で14時から21時まで、夜勤者の協力を得て入浴できる。デイサービスの機械浴の利用や2人体制の介助など、一人ひとりの希望や習慣、状態に合わせた支援をしている。地域の人から頂いた菖蒲で菖蒲湯にしたり、利用者が摘んだよもぎでよもぎ湯にしたり、入浴を楽しむことができるように支援している。	
46	(20) 2階	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は14時～21時までとし、希望の時間に入れるようにしている。1番風呂が好きな利用者様には1番に声かけする等、希望やタイミングに合わせている。菖蒲湯、ゆず湯、入浴剤を使用し好みの温度に調整し気持ちよく入浴して頂けるように工夫している。		
47	1階	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使い慣れた寝具を持ちこまれたり空調管理や湿度調整を行い安心して快適に休まれるように支援している。遅くまでテレビを見られる方や朝はゆっくりと起きて頂けるように無理のない声かけを行っている。また、居室はプライベートな空間でありご本人が休みたい時に自由に過ごしていただけるような生活支援をしている。		
47	2階	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使い慣れた寝具を使用して頂き、空調管理や湿度調整を行い安心して快適に休まれるように支援している。遅くまでテレビを見られる方や朝はゆっくりと起きて頂けるように無理のない声かけを行っている。またリラックスできる音楽を流し気持ちよく休息できるように工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	1階	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月に2回薬剤管理指導で薬剤師より薬の副作用や効能について指導を受けている。利用者様の体調の変化は薬剤師にも相談し医師への報告もしてもらっており医療職との連携も図れている。また、与薬マニュアルを作成しており手順に沿って与薬を行っている。		
48	2階	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月に2回薬剤管理指導で薬剤師より薬の副作用や効能について指導を受けている。利用者様の体調の変化は薬剤師にも相談し医師への報告もしてもらっており医療職との連携も図れている。また、与薬マニュアルを作成しており手順に沿って与薬を行っている。		
49	(21) 1階	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の生活歴を把握した上で、要望に沿いながら得意の踊りや歌を皆さまの前で披露していただいたり、生け花をされていた方にはリビングの花を生け直して頂いたり、絵画が得意な方にはスタッフの肖像画を描いて頂いたり、掃除の仕事をされていた方はユニットの掃除を毎日の日課とされていたり、視力が弱い方でもノートと筆ペンをお渡しすると達筆で書かれその意味もしっかりと教えて下さっている。常にスタッフは利用者様に教わったり共に楽しむことを大切にしている。	梅ジュース作り、習字、野菜作り、絵画、掃除、洗濯物たたみ等やフラワーアレンジメント、気功体験、学習療法、餅つき、法話、クリスマス会、筍掘り、保育園での夕涼み会、家族と一緒に梅餅作り等、張り合いや喜びのある日々が過ごせるように、楽しみごとや気分転換等の支援をしている。	
49	(21) 2階	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	担当スタッフと個別に外出し、食事、散歩、ドライブに出掛け、思い思いの所に外出して気晴らしが出来るように支援している。また料理、習字、野菜のお世話、花の水やり、図画工作など趣味を活かしお好きな事に取り組んで頂きご自分の力が充分に発揮できるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	1階	(22) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日ゴミ出しをスタッフと一緒に連れており天気の良い日はそのまま散歩をしたりしている。突然買い物に行きたいといわれる方にも可能な限りその時に外出ができるように支援している。車いすの方でもご家族と協力して一緒にご自宅で誕生日会も開いている。ご家族と飛行機での旅行やバス旅行に行かれる方もいらっしゃる。	日常的な散歩や買い物その他、わらび採り、紅葉狩り、葡萄狩り、芋掘り、花まつり、小学校の桜見学、寺参り、お大師様巡り、花見(コスモス、菖蒲など)や蛍祭り等に出かけたり、家族、職員と一緒に一泊旅行やバス旅行など、家族と協力しながら出かけられるように支援している。	
50	2階	(22) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ゴミ出しをスタッフと一緒に連れて、天気の良い日はそのまま散歩をしたりしている。日々の会話の中から利用者様の行きたい場所等をお伺いして、誕生日会などの機会を利用して個別に外出している。ご本人の希望でご家族と連絡を取り自宅にスタッフが付き添い帰られる方もいる。地域で開催される行事にも定期的に参加している。		
51	1階	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	手元に少額の現金を持たれている方もいらっしゃる。買い物に行った際はご自分で支払いをして頂いている。スタッフが管理している方でも買い物の際は好きなものを選んで頂き、会計時はご本人に現金をお渡ししご自分で会計ができるような支援を行っている。		
51	2階	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	手元に少額の現金を持たれている方もいらっしゃる。買い物に行った際はご自分で支払いをして頂いている。スタッフが管理している方でも買い物の際は好きなものを選んで頂き、会計時はご本人に現金をお渡ししご自分で会計ができるような支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	1階	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方のご家族と文通をされている方もおられる。絵葉書に色を付け作品を手紙にされている。年賀状や暑中見舞いはご自分で書かれる方にはお声かけをし希望があれば書いて頂いている。返事をとてもうれしそうに眺めておられる。自ら電話をされる方はいらっしゃらないが正面玄関には公衆電話があり希望があれば使用できるようになっている。また、ご家族からの電話をご本人とかわり遠方のご家族との繋がりも絶えないようにしている。		
52	2階	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	玄関にいつでもかけれる公衆電話が設置してある。遠方のご家族やいとこの方と文通をしておられ、それがきっかけで数年ぶりに会いに来られた方もいらっしゃる。ご本人専用の携帯電話を持たれている方もおり、ご家族から電話があり楽しそうにお話されている。		
53	1階	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下にはソファが置いてあり仲の良い方と一緒にくつろがれている。共用空間には絵画をかける等してインテリアにも配慮し文化的な生活を送って頂けるようにしている。中庭にはデッキがあり他事業所の方との交流も図れるようになっている。玄関は上がり框が設けてあり一般家庭に近い環境になっている。また、室温や反射する光、風の音、テレビの音量等にも常に気を配り季節の花や野菜などを飾るなどして季節を感じて頂きながら快適に過ごして頂けるように努めている。	中庭では梅の木やチューリップ、苺が植えられたプランターなどで季節感を楽しめるほか、外気浴や散歩を楽しんでいる。共有空間は明るく、キッチンから食卓が見渡せ利用者と語り合いながら調理や盛り付け等ができるようになっている。トイレや浴室も利用者に配慮した造りとなっており、手すりや壁紙など落ち着いた雰囲気の中で安心して過ごせるように工夫している。	
53	2階	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下にはソファが置いてあり仲の良い方と一緒にくつろがれている。共用空間には絵画をかける等してインテリアにも配慮し文化的な生活を送って頂けるようにしている。ベランダからは中庭が見え四季が感じられるようになっている。玄関は上がり框が設けてあり一般家庭に近い環境になっている。また、室温や反射する光、風の音、テレビの音量等にも常に気を配り季節の花や野菜などを飾るなどして季節を感じて頂きながら快適に過ごして頂けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	1階	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下のソファは一人で休んで頂いたり仲の良い利用者様との団らんの場となっている。リビングのテーブルも気の合う方が同じテーブルになるように席も考慮している。		
54	2階	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下のソファは一人で休んで頂いたり仲の良い利用者様との団らんの場となっている。リビングにもソファがありテレビを見ながらくつろがれたり、休まれたりして思い思いにのんびりと過ごされている。		
55	1階	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、ご家族にお願いしご自宅で使い慣れた馴染みの深いものを持ってきて頂いている。鏡台やご自分で作られたクッション、大好きなお花をたくさん置かれている方もいらっしゃる。また、入居後もご家族と相談し一緒にご自宅へ訪問しお気に入りの着物と着物掛けを選び居室に飾ったりもしている。	居室は洋室と和室があり、花好きな利用者には活け花や鉢花を部屋に置いたり、本人や家族の手芸作品、お気に入りの着物が飾ってあったり、鏡台、冷蔵庫、ぬいぐるみ、椅子など使い慣れた家具や好みの物を持ち込まれ居心地良く、落ち着いて過ごせるよう工夫されている。	
55	2階	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までご本人が使われていた大切な道具や家具も持ち込まれ個性あるお部屋作りを行っている。また写真、花、自分で作られた人形等馴染みの物を飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。亡くなられた息子様の写真にお饅頭などをスタッフと一緒にお供えされている方もいる。		
56	1階	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関以外はバリアフリーとなっており廊下やトイレ浴室には握りやすい手すりがついている。居室は全室洗面台付きでご本人の能力に合わせてゆっくりと整容や口腔ケアができるようになっている。		
56	2階	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関以外はバリアフリーとなっており廊下やトイレ浴室には握りやすい手すりがついている。居室は全室洗面台付きでご本人の能力に合わせてゆっくりと整容や口腔ケアができるようになっている。		

## 2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム野の花

作成日：平成 23年 9月 3日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時や事故発生時の対応が新人職員にはまだ身についていない。	職員一人一人が緊急時、事故発生時の対応が出来る。	H23年5月…救命講習(転倒骨折・出血・誤嚥予防・誤嚥時の対応) 6月…事故発生予防及び再発防止 7月…感染予防・まん延防止 10月…事故発生等緊急時の対応	12ヶ月
2	14	新人職員に認知症についての知識や理解、また周辺症状への対応が身についていない。	新人職員に認知症についての理解や知識を深めその方に合った対応が出来る。	新人職員研修マニュアルに沿って指導する。月2回の法人勉強会や月1回のグループホーム勉強会で認知症と認知症ケアについて取り上げる。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。